

The 8th International Symposium on Autophagy 参加報告

D2 長井広樹

5/29 – 6/1に奈良春日野国際フォーラム麓にて開催された第8回国際オートファジー学会に参加し、ポスター発表をさせていただきました。参加者の多くがポスドク以上ということもあり、非常にレベルの高い研究発表を多数拝聴することができました。口頭発表のセッションでは、オートファジーの基本原則から、ガンや神経疾患などへのオートファジーの関与メカニズムまで、オートファジー研究の広範囲に渡る最先端の知見が発表されました。特に、オートファジーによる免疫シグナルの制御など、私自身のテーマに関連した発表もあり、どのように自分の研究をアピールするかを考える大変良い機会となりました。また、ガンや細胞分裂に焦点を当てた発表が多く、当研究室の他のメンバーが行っている研究の参考になるデータにも触れることができました。このように、今後の研究の方針に関わる有益な情報が得られ、参加できたことを有意義に感じています。

自分のポスター発表では、海外の研究者の方にも（数名ではありますが）研究内容を聞いていただくことができました。質問に対する返答がたどたどしい英語になってしまい、自分の意図が伝えきれなかったこともありました。日常的に英語を話すトレーニングが必要だと再確認するとともに、適切な表現が出てこずとも思いつく限りの英語表現をすることが大事であると痛感しました。また、今回の学会で初めて知り合った方にもポスターを聞きにきていただき、少しでも興味を持っていただけたことを非常に嬉しく思いました。どなたも精力的に研究活動を行っており、日々のモチベーションがグッと高められました。毎回のことではありますが、オートファジーの学会に参加すると自分がまだまだ力不足であることを強く感じます。今後も研究生活を通じ、精一杯自身を成長させていきたいと思えます。

最後になりましたが、このような機会を与えていただけたことに厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。



写真：東大寺の8本足の蝶と